

古典の日 フォーラム2025

日時 11月1日(土) 13時～15時40分(開場12時～)

会場 ロームシアター京都 メインホール

入場料
1,500円

チケット販売開始
8月1日(金)10:00～

【第1部】

◆ テーマ曲「古典の日燦爛」と「古典の日宣言」

演奏：大谷祥子と六条山楽坊

宣言：長谷川聖花

(第16回古典の日朗読コンテスト「中学・高校生部門」大賞受賞者)

◆ 第40回国民文化祭「ながさきピース文化祭2025」との連携

メッセージ：大石賢吾(長崎県知事)

命婦の舞(国選択無形民俗文化財)命婦の舞保存会

【第2部】「江戸時代の文化」

◆ 講演「花開く町人の文化」

澤田瞳子(作家)

◆ 人形浄瑠璃文楽「『義経千本桜』二段目 知盛幽霊の段」

太夫 竹本織太夫

三味線 鶴澤清志郎

人形 吉田簀紫郎 他

上演の後のお楽しみ！「アフタートーク 文楽の魅力」

司会 三宅民夫(元NHKアナウンサー)

※敬称略 ※プログラムは予告なしに変更する場合がございます

第40回国民文化祭 第25回全国障害者芸術・文化祭「ながさきピース文化祭2025」11月30日まで開催

主催：古典の日推進委員会

共催：文化庁

後援：京都新聞

NHK 京都放送局



文化庁

申込は裏面へ

講演

「花開く町人の文化」

澤田瞳子（さわだとうこ）／作家

京都府生まれ。同志社大学文学部文化史学専攻卒業、同大学院博士前期課程修了。同大学客員教授。2011年、デビュー作『孤鷹の天』で中山義秀文学賞、『満つる月の如し 仏師・定朝』で新田次郎文学賞、『若冲』で親鸞賞、『掛け入りの寺』で舟橋聖一文学賞、2021年『星落ちて、なお』で第165回直木賞を受賞。『火定』『落花』『しらゆきの果て』など著書多数。近著『京都の歩き方 歴史小説家50の視点』では、歴史作家ならではの眼で京都を紹介。

撮影：富本真之

人形浄瑠璃文楽

文楽とは？

人形浄瑠璃文楽は、日本を代表する伝統芸能の一つで、太夫・三味線・人形が一体となった総合芸術です。その成り立ちは江戸初期にさかのぼります。太夫と三味線は、お互いの意気を含ませ対等な立場で、緊迫した呼吸を積み重ね義太夫節を組み立てていきます。文楽の人形は、人形一体を三人の人形遣いが操る、世界でも例を見ないもので、微妙な動きはもちろん心情までも表現し、生身の人間以上に訴えかけるものを持っています。

「義経千本桜」より「渡海屋銀平太は中納言知盛」



撮影：滝澤めぐみ



太夫
竹本織太夫



三味線
鶴澤清志郎



人形
吉田蓂紫郎

『義経千本桜』二段目 知盛幽霊の段

今回、ご披露するのは、『義経千本桜』の二段目「渡海屋・大物浦の段」の中の一場面、船宿の亭主に身をやつし、宿敵・源義経への復讐の機会を狙っている平知盛が、正体を現して、大物浦に義経一行に矢報おうと出陣する場面です。文楽では、太夫（語り手）と三味線が登場人物のセリフや心情、場面の雰囲気すべてを表現します。知盛が怒りや悲しみに満ちたセリフを語る場面では、声の抑揚や三味線の音が、まるで心の中に入り込んでくるようです。日本の語り芸術の粋ともいえる部分です。人形も白い鎧の知盛は、人間以上の「気迫」や「怒り」を体全体で表現します。みどころは武士の誇りと哀しみを表現する知盛という人物の深み。目を見張るような人形の操作とこれらが一つになった、文楽の魅力がぎゅっと詰まった名場面、はじめて文楽を観る人でも、言葉がすべてわからなくても、「すごい」「きれい」「迫力ある」と感じられるシーンが連続する段なので、観劇の入り口としてもおすすめです。

※上演後、出演者の皆さんのアフタートークをお楽しみください。インタビュアーは三宅民夫さんです。

第40回 国民文化祭「ながさきピース文化祭2025」との連携



命婦の舞（国選択無形民俗文化財）命婦の舞保存会

長崎県対馬に伝わる巫女舞で島内各地の神社の例祭で奉納されている。起源は中世以前とみられ、近世には世襲的に継承されていたことが確認されている。白衣白足袋、緋袴に千早（ちはや）を着た命婦が、神楽太鼓を打ちながら神楽祝詞を唱えた後、神楽鈴を持って古風な神楽歌を歌いながら四方舞を舞うもので、神楽の原初的姿を考える上で貴重な伝承である。かつては島内にかなりいた命婦も、現在では伝承が危ぶまれる状況になっている。

チケット購入はこちらから

- オンラインチケット 24時間購入可※要事前登録（無料） <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- 京都コンサートホール チケットカウンター TEL.075-711-3231
（窓口・電話とも 10:00～17:00／第1・3月曜日 ※休日の場合は翌平日休館）
- ロームシアター京都 チケットカウンター TEL.075-746-3201
（窓口・電話とも 10:00～17:00／年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり）

オンラインチケットはこちら



古典の日推進委員会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地
京都経済センター3階
（公財）京都文化交流コンベンションビューロー内
TEL ● 075-353-3060（月～金 9:00～12:00 13:00～17:00 土日祝は除く）
FAX ● 075-353-3055
WEB ● <https://hellokcb.or.jp/kotennohi/>



古典の日 検索 Q ◆ Facebookにて新着情報配信中！

会場地図

ロームシアター京都 メインホール

（京都市左京区岡崎最勝寺町13）

- 京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分
- 市バス32・46系統
「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- 市バス5・86系統
「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分
- 市バス31・201・202・203・206系統
「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

※ロームシアター京都には駐車場がありません。

近隣のみやこめっせ駐車場、岡崎公園駐車場等をご利用いただく（有料）、公共交通機関でお越しください。

